

ケケン

品質基準

一般財団法人 ケケン試験認証センター

2006.9.1制定 (第1版)  
2022.2.21改訂 (第21版)

# 素材別試験項目一覧表

試験項目	素 材		織 物					編 物					毛 皮	◎ ……必須項目 ○ ……取扱い(水洗い又はドライ) △ ……素材及び加工等により実施 染色堅ろう度 ……白色は耐光のみ行う
	毛	絹	綿・麻	再生繊維	半合成繊維	合 織	毛	絹	綿・麻	再生繊維	半合成繊維	合 織		
混用率	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
染色堅ろう度	耐 光	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	第3露光法
	洗 濯	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	毛・絹はA-1号、その他はA-2号 水洗い適用
	水	△	△				△	△					◎	毛・絹50%以上含む繊維に適用
	汗	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	摩 擦	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	ホットプレッシング	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	ドライクリーニング	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		溶剤はパークロを使用但し、素材及び顔料プリント等特殊加工のものは石油系溶剤使用。ドライに適用
	色 泣 き	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		濃淡組合せの生地(大丸I法)
	光及び汗			△	△				△	△				JIS L 0888 B法 セルロース繊維35%以上含む繊維に適用
	塩素処理水			△	△	△			△	△	△			セルロース系繊維を35%以上含む繊維に適用
酸素系漂白昇華	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		酸素系漂白表示品に適用 ポリエステル混に適用	
寸法変化率	浸せきC法	◎	◎	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○		水洗不可・ドライ表示するもの
	プレスH-2法	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	洗濯C4M法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		水洗表示するもの
	ド ラ イ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		溶剤は、ドライクリーニング堅ろう度と同じ
	ハイグラル	△												C法準拠 毛50%以上含む繊維に適用
	バブリング	△												毛検法 毛50%以上含む繊維に適用
カーリング	△												毛検法 毛50%以上含む繊維に適用	
物 性	引張強さ	◎	◎	△	△	△								
	引裂強さ	◎	◎	◎	◎	◎								
	破裂強さ						◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	滑脱抵抗力	◎	◎	◎	◎	◎								薄地荷重は49.0N/厚地荷重は117.7N
	ピリング	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		織物は10H/ニットは5Hピルが発生すると思われるもの
	ランダムピリング	△												毛50%以上含むもの
	スナッグ	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		糸が布面に浮いた組織の物、引っかかり易いと思われる物
	摩耗強さ	△	△	△	△	△								毛・絹 E法(マーチンデル法) その他 A法(ユニバーサル法)
パイル保持性	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		JIS L 1075 A法	
撥水性	△	△	△	△	△								撥水表示のある物	
遊離ホルムアルデヒド	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		法規制対象品は必須項目とする	
特定芳香族アミン	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		法規制対象品は必須項目とする	

※ 添付白布は(JIS通り)

※ 証明書の有効期限は発行日より原則半年です。

適用優先順位

毛繊維 30%以上含むもの  
羊毛、カシミア、モヘヤ、ビキューナ

絹繊維 上記以外で20%以上含むもの  
絹

植物繊維 上記以外で30%以上含むもの  
綿、麻

再生繊維 上記以外で30%以上含むもの  
レーヨン、キュプラ

半合成繊維 上記以外で30%以上含むもの  
アセテート、トリアセテート

合成繊維 上記以外で30%以上含むもの  
ナイロン、ビニロン、ポリエステル、アクリル  
モダクリル、ポリウレタン、複合繊維

厚地/薄地

厚地: 200g/m<sup>2</sup>以上

薄地: 200g/m<sup>2</sup>未満

淡色/濃色

淡色: ISO R105 Part 1 Section10に規定されている  
標準濃度の(1/12)以下の濃度の色をいう。

濃色: ISO R105 Part 1 Section10に規定されている  
標準濃度の(1/1)以上の濃度の色をいう。

異色濃淡組み合わせ

ケケン基準での濃淡組み合わせとは、切り替え仕様のよう  
に他素材との縫い合わせや同一製品内での密着の可能性のある  
場合をいう。

# 素材別試験項目基準

試験項目		素 材		織 物					
		毛	絹	綿・麻	再生繊維	半合成繊維	合織		
混用率									
染色堅ろう度	耐光	変退色※6	4級以上 淡色 3級以上	3級以上					
	洗濯	変退色	4級以上						
		汚染※5	3級以上						
	水	変退色	4級以上						
		汚染※5	3級以上						
	汗	変退色	4級以上						
		汚染※5	3級以上						
	摩擦	乾燥※1	4級以上						
		湿潤※2	2-3級以上						
	ホットプレッシング	変退色	4級以上						
		汚染	4級以上						
	ドライクリーニング	変退色	4級以上						
		汚染※5	3-4級以上						
	色泣き	汚染	4-5級以上						
光及び汗	変退色			3級以上					
塩素処理水	変退色			3級以上					
酸素系漂白	変退色	4級以上							
昇華	変退色							4級以上	
	汚染							4級以上	
寸法変化率	浸せきC法	たて	-3.0~+1.0						
		よこ	-3.0~+1.0						
	プレスH-2法	たて	-2.0~+1.0						
		よこ	-2.0~+1.0						
	洗濯C4M法	たて	-3.0~+1.0						
		よこ	-3.0~+1.0						
	ドライ	たて	-2.0~+1.0						
		よこ	-2.0~+1.0						
	ハイグラル	たて	-1.0~+3.0						
		よこ	-1.0~+3.0						
バブリング	30分後	3級以上							
	24時間後	4級以上							
カーリング	5分後	3級以上							
	24時間後	3級以上							
物性	引張強さ	たて/ヨコ	梳毛 196N以上	196N以上					
		たて/ヨコ	紡毛 147N以上						
	引裂強さ	たて	9.8N以上						
		よこ	9.8N以上						
	滑脱抵抗力	たて/ヨコ	厚地 5mm以内						
		たて/ヨコ	薄地 3mm以内						
	ピリング	10時間	※7 3級以上						
	ランダムピリング	乾燥	4級以上						
		湿潤	3級以上						
	スナッグ	たて/ヨコ	3級以上						
摩耗強さ※4		※3 10000回以上	8000回以上	100回以上					
パイル保持性		60%以上							
撥水性	処理前	4以上							
	処理後	2以上							
遊離ホルムアルデヒド	A-Ao	出生後24ヶ月以内の乳幼児用のもの 0.05以下							
	μg/g	乳幼児用以外の肌着 75以下 / その他 300以下							
特定芳香族アミン	μg/g	30以下							

- ※1 濃色・特殊プリント・起毛品の場合3-4級以上、デニム・別珍・コール天3級以上  
 ※2 濃色・特殊プリント・起毛品の場合2級以上、デニム・別珍・コール天1-2級以上  
 ※3 スーツは20000回以上  
 ※4 毛・絹についてはE法(マーチンテール法)、それ以外はA-1法(ユニバーサル形法)で行う  
 ※5 異色濃淡の組み合わせは汚染4級以上、異色濃淡の組み合わせ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級以上  
 ※6 蛍光増白剤の黄変は合否判定より除外  
 ※7 羊毛以外の獣毛混用(30%以上)品・合成繊維混用(30%以上)品の場合は2.5級以上

※試験基準は予告なしで変更する場合がありますから、ご不明な点がございましたら当センターまでご連絡をください。

# 素材別試験項目基準

素 材		ニ ッ ト						毛皮
		毛	絹	綿・麻	再生繊維	平合成繊維	合 織	
試験項目								
混 用 率								
染色堅ろう度	耐 光	変退色※4	4級以上 淡色 3級以上	3級以上				3級以上 淡色 2級以上
	洗 濯	変退色	4級以上					
		汚 染※3	3級以上					
	水	変退色	4級以上					3級以上
		汚 染※3	3級以上					2級以上
	汗	変退色	4級以上					
		汚 染※3	3級以上					
	摩 擦	乾 燥※1	4級以上					3級以上
		湿 潤※2	2-3級以上					1-2級以上
	ホットプレッシング*	変退色	4級以上					
	ドライクリーニング*	汚 染	4級以上					
		変退色	4級以上					
	色 泣 き	汚 染	3-4級以上					
	光及び汗	変退色	4-5級以上					
塩素処理水	変退色	3級以上						
酸素系漂白	変退色	3級以上						
昇華	変退色	4級以上						
	汚 染						4級以上 4級以上	
寸法変化率	浸せきC法	たて	-4.0~+1.0					
		よこ	-4.0~+1.0					
	プレスH-2法	たて	-3.0~+1.0					
		よこ	-3.0~+1.0					
	洗濯C4M法	たて	-5.0~+3.0					
		よこ	-5.0~+3.0					
ド ラ イ	たて	-3.0~+1.0						
	よこ	-3.0~+1.0						
物 性	破裂強さ		300kPa					
	ピリング	5時間	※5 3級以上					
	ランダムピリング*	乾 燥	4級以上					
		湿 潤	3級以上					
	スナッグ	ﾀｲ/ｺｺ	3級以上					
パイル保持性		60%以上						
撥 水 性	処理前	4以上						
	処理後	2以上						
遊離ホルムアルデヒド*	A-Ao	出生後24ヶ月以内の乳幼児用のもの 0.05以下						
	μg/g	乳幼児用以外の肌着 75以下 / その他 300以下						
特定芳香族アミン	μg/g	30以下						

※1 濃色・特殊プリント・起毛品の場合3-4級以上、デニム・別珍・コール天3級以上

※2 濃色・特殊プリント・起毛品の場合2級以上、デニム・別珍・コール天1-2級以上

※3 異色濃淡の組み合わせは汚染4級以上、異色濃淡の組み合わせ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級以上

※4 蛍光増白剤の黄変は合否判定より除外

※5 羊毛以外の獣毛混用(30%以上)品・合成繊維混用(30%以上)品の場合は2.5級以上

※試験基準は予告なしで変更する場合がありますから、ご不明な点がございましたら当センターまでご連絡をください。

## 試験項目及び試験方法

(1) 繊維混用率試験	JIS L 1030-1	繊維鑑別
	JIS L 1030-2	繊維混用率
(2) 染色堅ろう度試験		
耐光試験	JIS L 0842	第3露光法
洗濯試験	JIS L 0844	A-1号・A-2号
水試験	JIS L 0846	
汗試験	JIS L 0848	
摩擦試験	JIS L 0849	試験機Ⅱ形
ホットプレッシング試験	JIS L 0850	A法(乾熱試験法)・B法(アイロン法)
ドライクリーニング試験	JIS L 0860	A法(パークロロエチレン) B法(石油系)
汗・耐光試験	JIS L 0888	B法
塩素処理水試験	JIS L 0884	A法 弱・B法 強試験
色泣き試験		バイレック法(大丸Ⅰ法)
酸素系漂白	JIS L 0889	
昇華	JIS L 0854	
(3) 寸法変化率試験	JIS L 1096	
浸せき寸法変化率	C法	浸透浸せき法
	D法	石けん液浸せき法
プレス寸法変化率	JIS L 1096	
	H-2法	蒸熱オープン法
ドライ寸法変化率	JIS L 1096	
	J-1法	パークロロエチレン法
	J-2法	石油系法
ハイグラルエキスパンション		浸せきC法準拠
バブリング・カーリング		毛検法
(4) 物性試験		
引張強さ	JIS L 1096	A法(ラベルドストリップ法)
破裂強さ	JIS L 1096	A法(ミューレン形法)
引裂強さ	JIS L 1096	D法(ペンジュラム法)
滑脱抵抗力	JIS L 1096	B法
ピリング試験	JIS L 1076	A法(ICI形試験機)
	JIS L 1076	D-2法(ランダム・タンブル形試験機)
スナッグ試験	JIS L 1058	A法(ICI形メース試験機法)
摩耗強さ試験	JIS L 1096	A-1法(ユニバーサル形法 平面法)
	JIS L 1096	E法(マーチンデール法)
パイル保持性試験	JIS L 1075	A法(ユニバーサル形試験機)
表面フラッシュ	JIS L 1917	
脱毛率		タオル検法
毛羽付着		QTECセロテープ法
中綿ふきだし		バイリーン法
はっ水性試験	JIS L 1092	(スプレー法)
遊離ホルムアルデヒド試験	JIS L 1041	A法(アセチルアセトン法) B法(アセチルアセトン法)
	厚生省令第34号	
特定芳香族アミン	JIS L 1940-1、-3	
	厚生省令第34号	

(1) 繊維混用率試験

繊維混用率試験  
試験目的  
試験方法の概要

JIS L 1030-1・1030-2

繊維製品品質表示規定（家庭用品品質表示法）

組成繊維の種類を鑑別し、処理すべき試験方法を決定する為にあらかじめ顕微鏡試験・燃焼試験・化学試験などにより、組成繊維の種類を鑑別する。次に解除法・溶解法・比重法・顕微鏡法により混用率を求める。混用率は正量混用率で表す。

(2) 染色堅ろう度試験

耐光堅ろう度試験  
試験目的  
試験方法の概要

JIS L 0842 第3露光法 試料サイズ 6.5cm × 4cm以上

染色した繊維製品の日光、電灯（蛍光灯）などの光に対する変退色の程度を調べる。

試験片及びブルースケールを試料ホルダに取付け、ブルースケールが標準退色するまで紫外線カーボンアーク灯光にて露光する。露光終了後の試験片及びブルースケールを2時間以上暗所に放置した後、試験片とブルースケールの変退色を視感によって比較判定する。標準退色とは、ブルースケールが変退色用グレースケール4号と同程度に退色すること。試験片がブルースケールと同程度か又は少ない変退色を示した時には、そのブルースケールの等級又はその等級以上と表示し、変退色の程度が大きいときには、その等級未満とする。

洗濯堅ろう度試験  
試験目的  
試験方法の概要

JIS L 0844 A-1号・A-2号 試料サイズ 10cm × 4cm

染色した繊維製品の洗濯に対する変退色及び汚染の程度を調べる。

複合試験片（試験片+添付白布）を、洗濯試験機を用い規定の方法に基づいて試験液に入れて処理し、水洗い（25±2℃の水100mlで1分間）を2回繰返した後、60℃以下で乾燥し、試験片の変退色と添付白布の汚染の程度をそれぞれ変退色用グレースケール又は汚染用グレースケールと比較して、その堅ろう度を判定する。

試験の種類 (号)	温度 (℃)	石 鹼 (g/l)	炭酸ナトリウム (g/l)	液 量 (ml)	ステンス 剛球(個)	試験瓶 容量(ml)	時 間 (分)
A-1	40±2	5	---	100	---	550±50	30
A-2	50±2	5	---	100	---	550±50	30

注： 毛・絹 A-1号 その他 A-2号

水堅ろう度試験  
試験目的  
試験方法の概要

JIS L 0846 試料サイズ 10cm × 4cm多織交織布を用いないときは6cm × 6cm

染色した繊維製品の水に対する変退色及び汚染の程度を調べる。

複合試験片を常温の水に浸し、その後、汗試験機に取付け試料サイズ10×4cmの時は約50N及びサイズ6×6cmの時は約45Nの荷重を掛け37±2℃の乾燥機中に入れて4時間保持する。乾燥後試験片の変退色と添付白布の汚染の程度をそれぞれ変退色用グレースケール又は汚染用グレースケールと比較して、その堅ろう度を判定する。

汗堅ろう度試験  
試験目的  
試験方法の概要

JIS L 0848 試料サイズ 10cm × 4cm多織交織布を用いないときは6cm × 6cm

染色した繊維製品の汗に対する変退色及び汚染の程度を調べる。

複合試験片2片を取り、1片は酸性人工汗液、他片はアルカリ性人工汗液に濡らし、常温で30分間浸透する。その後、汗試験機に取付け約45N又は約50Nの荷重を掛け37±2℃の乾燥機中に入れて4時間保持する。乾燥後試験片の変退色と添付白布の汚染の程度をそれぞれ変退色用グレースケール又は汚染用グレースケールと比較して、その堅ろう度を判定する。

摩擦堅ろう度試験  
試験目的  
試験方法の概要

JIS L 0849 II形 試料サイズ 22cm × 3cm

染色した繊維製品の摩擦に対する汚染の程度を調べる。

摩擦試験は、乾燥試験と湿潤試験の2種類の試験方法がある。試験機上に固定した試験片10cmの間を摩擦用白綿布に2Nの荷重で毎分30回往復の速度で100回往復摩擦する。

ホットプレス堅ろう度試験

JIS L 0850 A法 B法 試料サイズ 10cm × 4cm

試験目的

染色した繊維製品のホットプレスに対する変退色及び汚染の程度を調べる。

試験方法の概要

【A法 乾熱試験機法】

ホットプレス台の上に白綿布1枚を載せ、その上に試験片1枚を上部加熱板のほぼ中央が接するように置き、あらかじめ決められた温度に加熱した上部加熱ばんを重ね4±1kPaの圧力を15秒間加える。

【B法 アイロン法】

ホットプレス台の上に白綿布1枚を置き、その上に試験片1枚を載せる。更にその上からあらかじめ決められた温度に加熱した電気アイロンを底面の中央に接するように置き2.5±0.5kPaの圧力を15秒間加える。

試験番号 (号)	温度 (°C)	時間 (秒)	圧力 (kPa)	試験番号 (号)	温度 (°C)	時間 (秒)	圧力 (kPa)
A-1	110±2	15	4±1	B-1	110±5	15	2.5±0.5
A-2	150±2			B-2	150±5		
A-3	200±2			B-3	200±5		

乾燥試験 白綿布及び試験片とも乾燥した状態で試験を行う。

湿潤試験

強試験 白綿布及び試験片ともあらかじめ水に浸し、乾燥時の質量と同じ質量の水分を含ませる。

弱試験 白綿布をあらかじめ水に浸し、乾燥時の質量と同じ質量の水分を含ませる。

ドライクリーニング堅ろう度試験

JIS L 0860 試料サイズ 10cm × 4cm

試験目的

染色した繊維製品のドライクリーニングに対する変退色及び汚染の程度を調べる。

試験方法の概要

A-1法: 試験瓶にパークロエチレンの試験液100mlとステンス剛球20個を入れ30±2°Cに調整し複合試験片を入れて密封し試験機に取付け30分間運転する。

A-2法: 試験瓶にパークロエチレン100mlを入れ試験液を30±2°Cに調整した後複合試験片を入れて密封し、試験機に取付け30分間運転する。

B-1法: 試験瓶に工業ガソリン5号試験液100mlとステンス剛球20個を入れ30±2°Cに調整し複合試験片を入れて密封し、試験機に取付け30分間運転する。

B-2法: 試験瓶に工業ガソリン5号試験液を入れ、試験液を30±2°Cの調整した後複合試験片を入れて密封し、試験機に取付け30分間運転する。

汗・耐光堅ろう度試験

JIS L 0888 B法 試料サイズ 1.5cm × 6.0cm以上

試験目的

染色した繊維製品の光及び汗の複合作用に対する変退色の程度を調べる。

試験方法の概要

酸性及びアルカリ性人工汗液の中に試験片を入れて30分間浸せきしたものを耐光試験機に取付け、3級ブルースケールが標準退色するまで露光する。

塩素処理水

JIS L 0884 A法・B法試験 試料サイズ 10cm × 4cm

試験目的

染色した繊維製品の塩素処理水に対する変退色の程度を調べる。

試験方法の概要

A法(弱試験)は主として水道水を対象とした一般衣料製品についての試験方法であり、B法(強試験)はプール水を対象にした水着等のスポーツ製品についての試験方法である。

色泣き試験

バイレック法(大丸I法) 試料サイズ 2.5cm × 10cm以上

試験目的

染料部分から染料が移動して白場や淡色部を汚染する程度を調べる。

試験方法の概要

0.05%非イオン界面活性剤入りの溶液に試験片の片端を約2cm浸漬し、室温で2時間放置した後、ピーカーを取除き試験片はそのままの状態乾燥し、判定する。

酸素系漂白

JIS L 0889 試料サイズ 10cm × 4cm

試験目的

染色した繊維製品の酸素系漂白に対する変退色の程度を調べる。

試験方法の概要

合成洗剤0.5g/L、過炭酸ナトリウム8.2g/L、漂白活性化剤1.8g/L入りの試験液100mLを60±2°Cに予熱した後、試験片を入れて30分間処理。続いて、水洗い(25±2°Cの水100mLで1分間)を2回繰返した後脱水乾燥し、変退色を判定する。



### (3) 寸法変化率試験

浸透浸せき法 JIS L 1096 C法 試料サイズ 25cm×25cm (織物)  
試料サイズ 30cm×30cm (編物)

試験方法の概要 試験片を非イオン界面活性剤0.05%を含む25±2℃の水溶液中に30分間浸せきし、遠心脱水するか、又は軽く押さえて水を切り、すだれの上で自然乾燥させた後、標準状態の試験室で4時間以上放置する。

石けん液浸せき法 JIS L 1096 D法 試料サイズ 25cm×25cm (織物)  
試料サイズ 30cm×30cm (編物)

試験方法の概要 試験片を無添剤(1種)のもの0.5%を含む50±2℃の水溶液中に20分間浸せきし、遠心脱水するか、又は軽く押さえて水を切りすだれの上で自然乾燥させた後、標準状態の試験室で4時間以上放置する。

家庭洗濯機法 JIS L 1930 C型洗濯機法 試料サイズ 40cm×40cm  
例 C4M法 基準洗濯機での条件 (MA値70~85)

洗い方	洗濯		すすぎ				洗剤	乾燥
			1回目		2回目			
	温度	時間	温度	時間	温度	時間		
パルセータ式 ノーマル攪拌	40℃	6分	40℃	2分	40℃	2分	標準洗剤4 1.33g/l	ライン (吊干し) スクリーン (平干し)

試験方法の概要 被洗物総重量が2000±100gになるよう負荷布で調整する。続いて、洗剤を洗剤投入口に入れ、規定の水温で洗濯プログラムを実施する。工程終了後、直射日光の影響を受けない状態で吊干し又は平干しをする。

商業用ウェットクリーニング法 JIS L1931-4 W法又はCW法 原則として製品に適用  
W法はA型洗濯機、CW法はC型洗濯機を使用

試験方法の概要 ・洗物総重量が2000±100gになるよう負荷布で調整する。  
・所定の洗剤・水・温度・回転動作で主洗いし、その後すすぎと脱水を規定回数行う。  
・タンブル乾燥後自然状態で放置する。(W3,CW3はタンブル乾燥無し)

プレス法 JIS L 1096 H-2法 試料サイズ 25cm×25cm

試験方法の概要 プレス機の蒸気圧を490kPaに設定し、試験片を下ごて中央部に丁寧に置き、上ごてを試験片の表面から約2cmの位置まで降ろし、15秒間蒸気をふかした後、上ごてを上げ、15秒間吸引する。

ドライクリーニング法 JIS L 1096 J-1法 試料サイズ 25cm×25cm (織物)  
試料サイズ 30cm×30cm (編物)

試験方法の概要 パークロロエチレン4ℓに対して、陰イオン界面活性剤2g及び非イオン界面活性剤2gを溶かし、更に水8mlを加えて40℃の試験液をウォッシュシリンダ形洗濯装置に入れ15分間運転し、脱水した後乾燥する。

ドライクリーニング法 JIS L 1096 J-2法 試料サイズ 25cm×25cm (織物)  
試料サイズ 30cm×30cm (編物)

試験方法の概要 クリーニング溶剤4ℓに対して、陰イオン界面活性剤2g及び非イオン界面活性剤2gを溶かし、更に水8mlを加えて35℃の試験液をウォッシュシリンダ形洗濯装置に入れ35分間運転し、脱水した後乾燥する。

ハイグラルエキスパンション C法準拠 試料サイズ 25cm × 25cm

**試験目的** 羊毛繊維等が水分の吸収や発散する事により、織物の伸び縮みの現象の程度を調べる。  
**試験方法の概要** 25°Cの0.05%非イオン界面活性剤溶液に30分間浸せきした後軽く脱水し濡れた状態でたて・よこ寸法を測定(a)する。試験片を標準状態で24時間自然乾燥し、たて・よこ寸法を測定(b)する。

$$\text{ハイグラルエキスパンション(\%)} = \frac{a-b}{b} \times 100$$

**バブリング** 毛検法 試料サイズ 25cm × 25cm

**試験方法の概要** 試験片を水平台上に置き30～40%程度の水を均一に霧吹き、30分間及び24時間放置した後の外観を判定する。

**カーリング** 毛検法 試料サイズ 25cm × 25cm

**試験方法の概要** 試験片を水平台上に置き30～40%程度の水を均一に霧吹き、5分間及び24時間放置した後の試験片の端がカールする状態を判定する。

#### (4) 物性試験

**引張強さ** JIS L 1096 A法 ラベルドストリップ法 ※試料サイズ 5cm × 20cm たて・よこ 各3枚  
※但し毛織物は5cm × 15cm

**試験目的** 織物が引張られ破断した時の強さを調べる。

**試験方法の概要** 織物については幅の両側から大体同数の糸を取除いて所定の幅としたものを引張り試験機を用いて試験片を引張り、切断時の強さ(N)を測定する。

**破裂強さ** JIS L 1096 A法 ミューレン形法 試料サイズ 15cm × 15cm 5枚

**試験目的** 加えられた圧力により、編地が破裂したときの強さを調べる。

**試験方法の概要** 圧力を加えて試験片が破裂するまでゴム膜を膨らませ、破裂時の強さを測定する。

**引裂強さ** JIS L 1096 D法 ペンジュラム法 試料サイズ 6.3cm × 10cm タテ・ヨコ各5枚

**試験目的** 織物が引裂かれたときの強さを調べる。

**試験方法の概要** エレメンドルフ形引裂試験機を用いて、中央に2cmの切れ目を入れ、残り4.3cmを引裂いたときに示す荷重強さを測定する。

**滑脱抵抗力** JIS L 1096 縫目滑脱法 B法 試料サイズ 10cm × 17cm タテ・ヨコ各5枚

**試験目的** 一定の条件で縫い合わせた試験片を直角方向に力を加えその時の縫目の開きを調べる。

**試験方法の概要** 10 × 17cmの試験片を規定の条件で縫い合せ、所定の荷重を与えた後、1時間放置後初荷重を与え最大孔の大きさを0.1mm単位まで測定する。

**ピリング試験** JIS L 1076 A法 ICI形試験機 試料サイズ 10cm × 12cm タテ・ヨコ各2枚

**試験目的** 着用中の摩擦による生地表面のピリング(小さな球状のかたまりピル・毛玉)の発生の程度を調べる。

**試験方法の概要** 特殊ゴム管に試験片を巻きつけた物を4個1組にして、コルクを内張りした立方体回転箱に入れ、編物は5時間、織物は10時間60±2回転の回転速度で操作し毛玉の発生状況を標準写真見本により程度を比較判定する。又ピルの脱落及び毛羽乱れの有無について観察し、判定結果にその旨を付記する。

**ピリング試験**

JIS L 1076 D-2法 ランダム・タンブル形試験機 試料サイズ 10.6cm×10.6cm 3枚

**試験方法の概要**

織物にあっては、たて方向又はよこ方向に対して、編物にあっては、ウェール方向又コース方向に対して約45°の角度で試験片を3枚採取し、ほつれないように合成ゴム接着剤で固め、試験機の円筒内に入れ1200rpmで30分間操作をする。但し湿潤については、約6%の湿潤状態の試験片で行う。  
(当会は、ランダム・タンブル形試験機は、B形を使用)

**スナッグ試験**

JIS L 1058 A法 ICI形メース試験機法 試料サイズ 200mm×330mm タテ・ヨコ各2枚

**試験目的**

着用時の引掛りによる引きつれや毛玉の発生の程度を調べる。

**試験方法の概要**

シリンダに巻いた試験片を60rpmで100回転させメース(スパイクボール)がランダムに飛び跳ねてスナッグを発生させる。

**摩耗強さ試験**

JIS L 1096 A-1法(平面法) ユニバーサル形法 試料サイズ 直径12cm 5枚

**試験目的**

摩擦に対する生地の高さを調べる。

**試験方法の概要**

試験機のゴム膜の上に載せ研磨紙で多方向に摩擦し、試験片が破壊した時の回数を測定する。

試料の質量(g/m <sup>2</sup> )	研磨紙の種類(参考)
250未満	炭化けい素質P1200-Cw
250以上400未満	炭化けい素質P800-Cw
400以上	炭化けい素質P400-Cw

**摩耗強さ試験**

JIS L 1096 E法(マーチンデール法)

試料サイズ 直径3.8cm 4枚

**試験目的**

摩擦に対する生地の高さを調べる。

**試験方法の概要**

試験片を摩耗試験機のホルダに取り付け、あらかじめ織フェルトの上に標準摩擦布を重ねて取り付けた摩擦台の上に載せて多方向に摩擦しエンドポイントまでの回数を測り4回の平均を算出し、100回単位で表す。

※当協会のエンドポイントは糸切れ(2本以上)です。

パイル保持性試験 JIS L 1075 A法(ユニバーサル形試験機)

試験目的 パイル織物及びパイル編物の摩擦に対するパイルの脱落の程度(保持性)を調べる。

試験方法の概要 80×80mmの試験片(A)と隣接して直径18mm又は25mmの円形試験片(b)を採集する。装置の合成ゴム板の上に試験片(a)のパイル面を下にして置き、試験片の裏側を耐水研磨紙により所定の押圧荷重のもとで多方向に摩擦する。

摩擦台の直径	: 25mm	: 18mm
耐水研磨紙	: Cw-C-P400又はP600	
押圧荷重	: 40g	: 20g
摩擦回数	500回(当事者間の協定による場合はこの限りではない)	
一定の回数(500回)の摩擦をした後、試験片(b)と同じ大きさの円形に摩擦部分を切り取り、パイル残留質量(g)をはかり、次式によってパイル保持率(%)を算出する。		
$\text{パイル保持率(\%)} = \frac{W1}{W} \times 100$		
W : 試験片(b)のパイル質量(g)		
W1 : 試験後に試験片(a)を試験片(b)の大きさに切り取ったもののパイル残留質量(g)		

はっ水度試験 JIS L 1092 スプレー法 試料サイズ 20cm×20cm 3枚

試験目的 衣料品の生地表面が雨水等をはじく程度を調べる。

試験方法の概要 試験片を保持枠に取付け、水250mlをガラス漏斗に入れて試験片上に散布する。標準写真見本により程度を比較し判定する。処理方法については、

前処理方法

洗濯処理: C法、(JIS L 1930 C4M)

ドライクリーニング処理: ウォッシュシリンダ形洗濯装置のシリンダに約30℃のパークロロエチレンを約3.78ℓを入れ、その中へ約50×50cmの試料を投入し10分間運転する。乾燥方法は、スクリーン乾燥、ライン乾燥、ドリップ乾燥、タンブル乾燥の中から一つを選んで行う。

遊離ホルムアルデヒド試験 JIS L 1041アセチルアセトン法(A法・B法) 及び 厚生省令第34号

試験目的 繊維製品に付着及び含有されるホルマリンを調べる。なおホルマリンが含有していると、湿疹、かぶれ等の症状を引起す恐れがあるため、法律及び行政指導で規制されている。

試験方法の概要 JIS L 1041アセチルアセトン法と厚生省令第34号は試験方法は同じであり繊維の分野では一般的にA法は乳幼児用途(生後24ヶ月以内)、B法は一般用途(生後24ヶ月以降)のものに適用されています。

A法: 試料2.50gを正秤し、細かく切り水100mlを加え40℃にて1時間抽出する。この抽出液に発色試薬(アセチルアセトン試液)を加え、40℃にて30分間加温した後、30分間放置した液を分光光度計を用い発色試薬を加えないものとの吸光度差を求める。

B法: 試料1.00gを正秤し、A法と同様の操作を行い、吸光度差を求め、既知なデータより、その試料に含まれるホルマリン量ppm(μg/g)を算出する。

★必須項目  
☆選択項目

# 1. セーター類

試験項目		判定基準		特例判定基準・対象品及び備考
耐洗濯性	☆耐洗濯性 JIS-L-1930 取扱い絵表示に従う (132よりも強い表示 の場合はそれに従う) 平干し	製品寸法変化率	平干し -6~+3%	・編地製品は洗濯前製品重量を測定し明記する。 ・ゴム編で巾方向の回復力がある縮みは、寸法基準値適用除外 【洗濯・乾燥方法の特例】 ・5G以下のセーターは「C3G法ネット使用平干し」  ・110手洗い表示の製品は「C3G法ネット」
		外観・縫製	異常がないこと	
		変退色	4級 以上	・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否 判定から除外。但し3級以下は無蛍光洗剤使用等の 注意表示を付けること。
		ブリード(白場汚染) 斜行(%以内) パッカリング	4-5級 以上 7% -	
	☆繰返し5回洗濯 JIS-L-1930 C4M吊干し	外観	異常がないこと	・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、 コーティング、フロッキー、ホンディング製品等に適用
		変退色	1回後 4級 以上 5回後 3級 以上	
耐商業ウエットクリーニング性	☆耐商業ウエット クリーニング性 JIS-L-1931-4 W1~W3法(又は CW1~CW3法) 取扱い表示に従う ☆繰返し3回	製品寸法変化率	±3%	・家庭洗濯不可かつウエットクリーニング可の商品に適用
		外観・縫製	異常がないこと	
		変退色	4級 以上	・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、 コーティング、フロッキー、ホンディング製品等に適用
		ブリード(白場汚染) パッカリング	4-5級 以上 -	
	☆繰返し3回 JIS-L-1931 W1~W3法(又は CW1~CW3法) 取扱い表示に従う	外観	異常がないこと	・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、 コーティング、フロッキー、ホンディング製品等に適用
		変退色	1回後 4級 以上 3回後 3級 以上	
耐商業ドライクリーニング性	☆耐商業ドライ クリーニング性 JIS-L-1931 P2又はF2 取扱い絵表示に従う ☆繰返し3回	製品寸法変化率	±3%	・ドライクリーニング可商品に適用
		外観・縫製	異常がないこと	
		変退色	4級 以上	・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、 コーティング、フロッキー、ホンディング製品等に適用
		ブリード(白場汚染) パッカリング	4-5級 以上 -	
	☆繰返し3回 JIS-L-1931 P2又はF2 取扱い絵表示に従う	外観	異常がないこと	・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、 コーティング、フロッキー、ホンディング製品等に適用
		変退色	1回後 4級 以上 3回後 3級 以上	
染色堅ろう度試験	★耐光	変退色	3級 以上	・蛍光増白剤の黄変は合否判定より除外 ・毛30%以上は4級以上(淡色は除く)
	☆洗濯	変退色/汚染	4級 以上/3級 以上 (*1) 4級 以上	・水洗い可表示のものに適用
	☆水	変退色/汚染	4級 以上/3級 以上 (*1) 4級 以上	・ドライクリーニング可表示のものに適用
	★汗	変退色/汚染	4級 以上/3級 以上 (*1) 4級 以上	・異色濃淡の組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は 汚染2-3級
	★摩擦	乾燥 湿潤	4級 以上 2-3 級以上	・濃色・特殊プリント・起毛品の場合3-4級、デニム・別珍・コル天3級 ・濃色・特殊プリント・起毛品の場合2級、デニム・別珍・コル天1-2級
	☆ドライクリーニング	変退色/汚染	4級 以上/3-4級 以上 (*1) 4級 以上	・ドライクリーニング可表示のものに適用
	色泣き	汚染	4-5級 以上	・酸素系漂白表示品に適用
	酸素系漂白	変退色	4級 以上	
物性	毛羽付着	3級 以上		・表、裏起毛(薄起毛含)、獣毛に適用
	表面フラッシュ	「表面フラッシュなし」	炎10cm 未満	・起毛製品で起毛部分の繊維がセルロース繊維50%以上に適用
	破裂強さ	300kPa 以上		
安全	遊離ホルムアルデヒド	出生後24ヶ月以内の乳幼児用のもの A-Ao 0.05以下		・法規製品に適用(全色・全パーツ)
	特定芳香族アミン	30 µg/g(ppm) 以下		

【注意】

- ・付属は染色堅ろう度の「水試験」及び洗濯又はドライクリーニング試験を行う。
- ・テープ・バッキング類等は、摩擦試験(乾・湿)も行う。
- (\*1)異色濃淡組合せ品に適用

※試験基準は予告なしで変更する場合がありますから、ご不明な点がございましたら当センターまでご連絡をください。

★必須項目  
☆選択項目

## 2. ホロシャツ・Tシャツ・トレーナー・スウェット類

試験項目		判定基準		特例判定基準・対象品及び備考
耐洗濯性	☆耐洗濯性 JIS-L-1930 取扱い絵表示に従う (132よりも強い表示 の場合はそれに従う) タンブル乾燥を優先(*2)	製品 寸法 変化 率	吊干し -6~+3%	・編地製品は洗濯前製品重量を明記する。 ・ゴム編で巾方向の回復力がある縮みは、寸法基準値適用除外 【洗濯・乾燥方法の特例】 ・ダブルフェイス、裏毛編地、リブ編地(テレコ)製品は「吊干し」 ・110手洗い表示の製品は「C3G法ネット」 ・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否 判定から除外。但し3級以下は無蛍光洗剤使用等の 注意表示を付けること。 ・スリット・前割れ・タテ方向の柄がある製品は斜行5%以内
			タンブル乾燥 丈-8~0% 巾-10~0%	
			外観・縫製 異常がないこと	
			変退色 4級 以上	
			プリント(白場汚染) 斜行(%)以内 7%	
			パッカリング -	
耐商業ウエットクリーニング性	☆耐商業ウエット クリーニング性 JIS-L-1931-4 W1~W3法(又はCW1 ~CW3法) 取扱い表示に従う ☆繰返し3回 JIS-L-1931 W1~W3法(又はCW1 ~CW3法) 取扱い表示に従う	製品寸法変化率 ±3%	異常がないこと	・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、 コーティング、フロッキー、ボンディング製品等に適用
		外観・縫製 異常がないこと		
		変退色 4級 以上		
		プリント(白場汚染) 4-5級 以上		
耐商業ドライクリーニング性	☆耐商業ドライ クリーニング性 JIS-L-1931 P2又はF2 取扱い絵表示に従う ☆繰返し3回 JIS-L-1931 P2又はF2 取扱い絵表示に従う	製品寸法変化率 ±3%	異常がないこと	・ドライクリーニング可商品に適用 ・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、 コーティング、フロッキー、ボンディング製品等に適用
		外観・縫製 異常がないこと		
		変退色 4級 以上		
		プリント(白場汚染) 4-5級 以上		
染色堅ろう度試験	★耐光	変退色	3級 以上	・蛍光増白剤の黄変は合否判定より除外 ・毛30%以上は4級以上(淡色は除く)
	☆洗濯	変退色/汚染 汚染	4級 以上/3級 以上 (*1) 4級 以上	・水洗い可表示のものに適用
	☆水	変退色/汚染 汚染	4級 以上/3級 以上 (*1) 4級 以上	・ドライクリーニング可表示のものに適用
	★汗	変退色/汚染 汚染	4級 以上/3級 以上 (*1) 4級 以上	・異色濃淡の組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は 汚染2-3級
	★摩擦	乾燥 湿潤	4級 以上 2-3 級以上	・濃色・特殊プリント・起毛品の場合3-4級、デニム・別珍・コール天3級 ・濃色・特殊プリント・起毛品の場合2級、デニム・別珍・コール天1-2級
	☆ドライクリーニング	変退色/汚染 汚染	4級 以上/3-4級 以上 (*1) 4級 以上	・ドライクリーニング可表示のものに適用
	色泣き	汚染	4-5級 以上	
	汗耐光	変退色	3級 以上	・セルロース系繊維を含む「紳士・婦人カットソー上衣」に適用
	塩素処理水	変退色	3級 以上	・セルロース系繊維を含む「紳士・婦人カットソー」に適用
	酸素系漂白	変退色	4級 以上	・酸素系漂白表示品に適用
物性	毛羽付着		3級 以上	・表、裏起毛(薄起毛含)、獣毛に適用
	ピリング	織10H 編5H	3級 以上	
	表面フラッシュ 破裂強さ	「表面フラッシュなし」 300kPa 以上	炎10cm 未満	・起毛製品で起毛部分の繊維がセルロース系繊維50%以上に適用
安全	遊離ホルムアルデヒド	出生後24ヶ月以内の乳幼児用のもの A-Ao 0.05以下		・法規製品に適用(全色・全パーツ)
	特定芳香族アミン	30 μg/g(ppm) 以下		

**【注意】**

・付属は染色堅ろう度の「水試験」及び洗濯又はドライクリーニング試験を行う。

・テープ・パピング類等は、摩擦試験(乾・湿)も行う。

(\*1): 異色濃淡組合せ品に適用

(\*2): 寸法変化率がタンブル乾燥で基準値を越す場合タンブル乾燥済み試験製品で吊干しによる再試験を行い、吊干しの基準値以内であれば合格とする。この場合、「タンブル乾燥禁止」(図柄300)と「吊干し」(図柄440又は445)表示を行う。

※試験基準は予告なしで変更する場合がありますから、ご不明な点がございましたら当センターまでご連絡をください。

★必須項目  
☆選択項目

### 3. シャツ・ブラウス類

試験項目		判定基準		特例判定基準・対象品及び備考	
耐洗濯性	☆耐洗濯性 JIS-L-1930 取扱い絵表示に従う (132よりも強い表示 の場合はそれに従う) タンブル乾燥優先(*2)	寸法 変化率	吊干し	-5~+3%	・編地製品は洗濯前製品重量を測定し明記する。 ・「クレープ(楊柳・縮緬等)」の製品の中方向は-15~0% 【洗濯・乾燥方法の特例】  ・110手洗い表示の製品は「C3G法ネット」  ・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否 判定から除外。但し3級以下は無蛍光洗剤使用等の 注意表示を付けること。
			タンブル乾燥	-5~0%	
		織地	吊干し	-6~+3%	
			タンブル乾燥	丈-8~0% 巾-10~0%	
		編地	巾-10~0%		
			変退色	4級 以上	
		フリード(白場汚染)	4-5級 以上		
	斜行(%以内)	織物3% 編物7%			
	パッカリング	3級 以上	・スリット・前割れ・斜方向の柄がある製品は5%以内 ・織地製品に適用		
	☆繰返し5回洗濯 JIS-L-1930 C4M吊干し	変退色	1回後 4級 以上 5回後 3級 以上	・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、 コーティング、フロッキー、ホントディング製品等に適用	
フリード(白場汚染)		4-5級 以上			
製品寸法変化率		±3%	・家庭洗濯不可かつウェットクリーニング可の商品に適用		
耐商業ウエットクリーニング性	☆耐商業ウエット クリーニング性 JIS-L-1931-4 W1~W3法(又はCW1 ~CW3法) 取扱い表示に従う	製品寸法変化率	±3%	・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、 コーティング、フロッキー、ホントディング製品等に適用	
		変退色	4級 以上		
	フリード(白場汚染)	4-5級 以上			
	パッカリング	4級 以上			
☆繰返し3回 JIS-L-1931 W1~W3法(又はCW1 ~CW3法) 取扱い表示に従う	変退色	1回後 4級 以上 3回後 3級 以上			
	フリード(白場汚染)	4-5級 以上			
耐商業ドライクリーニング性	☆耐商業ドライ クリーニング性 JIS-L-1931 P2又はF2 取扱い絵表示に従う	寸法変化率	±3%	・ドライクリーニング可商品に適用	
		変退色	4級 以上		
	フリード(白場汚染)	4-5級 以上			
	パッカリング	4級 以上	・織地製品に適用		
☆繰返し3回 JIS-L-1931 P2又はF2 取扱い絵表示に従う	変退色	1回後 4級 以上 3回後 3級 以上	・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、 コーティング、フロッキー、ホントディング製品等に適用		
	フリード(白場汚染)	4-5級 以上			
染色堅ろう度試験	★耐光	変退色	3級 以上	・蛍光増白剤の黄変は合否判定より除外 ・毛30%以上は4級(淡色は除く)	
	☆洗濯	変退色/汚染	4級 以上/3級 以上 (*) 4級 以上	・水洗い可表示のものに適用	
	☆水	変退色/汚染	4級 以上/3級 以上 (*) 4級 以上	・ドライクリーニング可表示のものに適用	
	★汗	変退色/汚染	4級 以上/3級 以上 (*) 4級 以上	・異色濃淡の組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は ものは汚染2-3級	
	★摩擦	乾燥	4級 以上	・濃色・特殊プリント・起毛品の場合3-4級、デニム・別珍・コル天3級	
		湿潤	2-3 級以上	・濃色・特殊プリント・起毛品の場合2級、デニム・別珍・コル天1-2級	
	☆ドライクリーニング	変退色/汚染	4級 以上/3-4級 以上 (*) 4級 以上	・ドライクリーニング可表示のものに適用	
	色泣き	汚染	4-5級 以上		
	汗耐光	変退色	3級 以上	・セルロース系繊維を含む「シャツ」に適用	
	塩素処理水	変退色	3級 以上	・セルロース系繊維を含む「シャツ」に適用	
酸素系漂白	変退色	4級 以上	・酸素系漂白表示品に適用		
物性	毛羽付着		3級 以上	・表、裏起毛(薄起毛含)、獣毛に適用	
	ピリング	織10H 編5H	3級 以上		
	表面フラッシュ	「表面フラッシュなし」	炎10cm 未満	・起毛製品で起毛部分の繊維がセルロース系繊維50%以上に適用	
	引張強さ	タテ/ヨコ	196N 以上		
	引裂強さ	タテ/ヨコ	9.8N 以上		
	滑脱抵抗力	タテ/ヨコ	3mm 以下	・薄地49.0N	
安全	遊離ホルムアルデヒド	出生後24ヶ月以内の乳幼児用のもの A-Ao 0.05以下		・法規製品に適用(全色・全パーツ)	
	特定芳香族アミン	30 µg/g(ppm) 以下			

**【注意】**

・付属は染色堅ろう度の「水試験」及び洗濯又はドライクリーニング試験を行う。

・テープ・パッキング類等は、摩擦試験(乾・湿)も行う。

(\*1): 異色濃淡組合せ品に適用

(\*2): 寸法変化率がタンブル乾燥で基準値を越す場合タンブル乾燥済み試験製品で吊干しによる再試験を行い、吊干しの基準値以内であれば合格とする。この場合、「タンブル乾燥禁止」(図柄300)と「吊干し」(図柄440又は445)表示を行う。

※試験基準は予告なしで変更する場合がありますから、ご不明な点がございましたら当センターまでご連絡をください。

★必須項目  
☆選択項目

## 4. ワイシャツ類

試験項目		判定基準		特例判定基準・対象品及び備考
耐洗濯性	☆耐洗濯性 JIS-L-1930 取扱い表示に従う (132よりも強い表示 の場合はそれに従う) タンブル乾燥優先(*2)	製品寸法変化率	衿回り-2~+0% 他の部位-3~+0%	【洗濯・乾燥方法の特例】 ・110手洗い表示の製品は「C3G法ネット」
		外観・縫製	異常がないこと	
		変退色	4級 以上	・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否 判定から除外。但し3級以下は無蛍光洗剤使用等の 注意表示を付けること。
		プリント(白場汚染) 斜行(%以内) パッカリング	4-5級 以上 3% 4級 以上	
	☆耐商業洗濯 (ラントリー)性 JISL1096 F法準用 取扱い表示に従う	製品寸法変化率	衿回り-2~+0% 他の部位-3~+0%	・ワイシャツに適用
		外観・縫製	異常がないこと	
		変退色	4級 以上	
		プリント(白場汚染) 斜行(%以内) パッカリング	4-5級 以上 3% 4級 以上	
染色堅ろう度試験	★耐光	変退色	3級 以上	・蛍光増白剤の黄変は合否判定より除外 ・毛30%以上は4級以上(淡色は除く)
	☆洗濯	変退色/汚染 汚染	4級 以上/3級 以上 (*1) 4級 以上	・水洗い可表示のものに適用
	☆水	変退色/汚染 汚染	4級 以上/3級 以上 (*1) 4級 以上	・ドライクリーニング可表示のものに適用
	★汗	変退色/汚染 汚染	4級 以上/3級 以上 (*1) 4級 以上	・異色濃淡の組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は 汚染2-3級
	★摩擦	乾燥 湿潤	4級 以上 2-3 級以上	・濃色・特殊プリント・起毛品の場合3-4級、デニム・別珍・コル天3級 ・濃色・特殊プリント・起毛品の場合2級、デニム・別珍・コル天1-2級
	☆ドライクリーニング	変退色/汚染 汚染	4級 以上/3-4級 以上 (*1) 4級 以上	・ドライクリーニング可表示のものに適用
	色泣き	汚染	4-5級 以上	
	酸素系漂白	変退色	4級 以上	・酸素系漂白表示品に適用
物性	引張強さ	タテ/ヨコ	196N 以上	
	引裂強さ	タテ/ヨコ	9.8N 以上	
	ピリング	織10H	3級 以上	
	滑脱抵抗	厚地(200g/m <sup>2</sup> 以上) 5mm以下 薄地(200g/m <sup>2</sup> 未満) 3mm以下		・絹織物、サテン、織密度の粗い製品に適用 ・荷重は厚地117.7N、薄地49.0N
安全	遊離ホルムアルデヒド	出生後24ヶ月以内の乳幼児用のもの A-Ao 0.05以下		・法規製品に適用(全色・全パーツ)
	特定芳香族アミン	30 μg/g(ppm)以下		

【注意】

・付属は染色堅ろう度の「水試験」及び洗濯又はドライクリーニング試験を行う。

・テープ・パッキング類等は、摩擦試験(乾・湿)も行う。

(\*1): 異色濃淡組合せ品に適用

(\*2): 寸法変化率がタンブル乾燥で基準値を超過する場合タンブル乾燥済み試験製品で吊干しによる再試験を行い、吊干しの基準値以内であれば合格とする。この場合、「タンブル乾燥禁止」(図柄300)と「吊干し」(図柄440又は445)表示を行う。

※試験基準は予告なしで変更する場合がありますから、ご不明な点がございましたら当センターまでご連絡ください。



★必須項目  
☆選択項目

## 5. ジャケット・コート類

試験項目		判定基準		特例判定基準・対象品及び備考	
耐洗濯性	☆耐洗濯性 JIS-L-1930 取扱い表示に従う (132よりも強い表示の場合にはそれに従う) 吊干し	製品寸法変化率 織地 編地	吊干し	-5~+3%	・編地製品は洗濯前製品重量を測定し明記する。 ・「グループ(楊柳・縮緬等)」の製品の中方向は-15~0% 【洗濯・乾燥方法の特例】 ・110手洗い表示の製品は「C3G法ネット」 ・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否判定から除外。但し3級以下は無蛍光洗剤使用等の注意表示を付けること。 ・スリット・前割れ・斜方向の柄がある製品は斜行5%以内 ・織地製品に適用
			外観・縫製	異常がないこと	
		変退色	4級 以上		
		プリント(白場汚染)	4-5級 以上		
		斜行(%以内)	織物 3% 編物 7%		
		パッカリング	3級 以上		
	☆繰返し5回洗濯 JIS-L-1930 C4M吊干し	製品寸法変化率	±3%	・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、コーティング、フロッキー、ボンディング製品等に適用	
		外観	異常がないこと		
		変退色	1回後 4級 以上 5回後 3級 以上		
	耐商業ウエットクリーニング性	☆耐商業ウエットクリーニング性 JIS-L-1931-4 W1~W3法(又はCW1~CW3法) 取扱い表示に従う	製品寸法変化率	±3%	・家庭洗濯不可かつウエットクリーニング可の商品に適用
外観・縫製			異常がないこと		
変退色			4級 以上		
プリント(白場汚染)			4-5級 以上		
☆繰返し3回 JIS-L-1931 W1~W3法(又はCW1~CW3法) 取扱い表示に従う		パッカリング	4級 以上	・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、コーティング、フロッキー、ボンディング製品等に適用	
		外観	異常がないこと		
		変退色	1回後 4級 以上 3回後 3級 以上		
耐商業ドライクリーニング性		☆耐商業ドライクリーニング性 JIS-L-1931 P2又はF2 取扱い表示に従う	製品寸法変化率	±3%	・ドライクリーニング可商品に適用
			外観・縫製	異常がないこと	
			変退色	4級 以上	
	プリント(白場汚染)		4-5級 以上		
	☆繰返し3回 JIS-L-1931 P2又はF2 取扱い表示に従う	パッカリング	4級 以上	・織地製品に適用	
		外観	異常がないこと		
		変退色	1回後 4級 以上 3回後 3級 以上		
	染色堅ろう度試験	★耐光	変退色	3級 以上	・蛍光増白剤の黄変は合否判定より除外 ・毛30%以上は4級以上(淡色は除く) ・水洗い可表示のものに適用
		☆洗濯	変退色/汚染	異常がないこと	・ドライクリーニング可表示のものに適用
		汚染	(*1) 4級 以上		
☆水		変退色/汚染	4級 以上/3級 以上	・異色濃淡の組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級	
汚染		(*1) 4級 以上			
★汗		変退色/汚染	4級 以上/3級 以上	・濃色・特殊プリント・起毛品の場合3-4級、デニム・別珍・コールド天3級	
汚染		(*1) 4級 以上			
★摩擦		乾燥	4級 以上	・濃色・特殊プリント・起毛品の場合2級、デニム・別珍・コールド天1-2級	
湿潤		2-3 級以上			
☆ドライクリーニング		変退色/汚染	4級 以上/3-4級 以上	・ドライクリーニング可表示のものに適用	
汚染	(*1) 4級 以上				
色泣き	汚染	4-5級 以上	・酸素系漂白表示品に適用		
酸素系漂白	変退色	4級 以上			
物性	引張強さ	タテ/ヨコ	196N 以上	・荷重は厚地117.7N ・表、裏起毛(薄起毛含)、獣毛に適用 ・起毛製品で起毛部分の繊維がセルロース系繊維50%以上に適用 ・コールド天・別珍に適用 ・中綿製品に適用 ・「はっ水」表示製品 洗濯処理方法:洗濯5回後ノアイロンで実施 ドライ処理方法:商業ドライクリーニング3回後	
	引裂強さ	タテ/ヨコ	9.8N 以上		
	破裂強さ		300 kPa		
	滑脱抵抗力	タテ/ヨコ	5mm以下		
	毛羽付着	3級以上 合繊ワースは、3.5級以上			
	ピリング	織10H 編5H	3級 以上		
	表面フラッシュ	「表面フラッシュなし」	炎10cm 未満		
	パイル保持性		60% 以上		
	中綿の噴出し		3級 以上		
	はっ水度	初期 処理後	4 以上 2 以上		
安全	遊離ホルムアルデヒド	出生後24ヶ月以内の乳幼児用のもの A-Ao 0.05以下	・法規製品に適用(全色・全パーツ)		
	特定芳香族アミン	30 µg/g(ppm)以下			

【注意】

- ・付属は染色堅ろう度の「水試験」及び洗濯又はドライクリーニング試験を行う。
- ・テープ・パイング類等は、摩擦試験(乾・湿)も行う。
- (\*)異色濃淡組合せ品に適用

※試験基準は予告なしで変更する場合がありますから、ご不明な点がございましたら当センターまでご連絡をください。

★必須項目  
☆選択項目

## 6. ジャンパー類

試験項目		判定基準		特例判定基準・対象品及び備考	
耐洗濯性	☆耐洗濯性 JIS-L-1930 取扱い表示に従う 吊干し (132よりも強い表示 の場合はそれに従う)	製品寸法変化率 織地 編地 吊干し	-5~+3%	・編地製品は洗濯前製品重量を測定し明記する。 ・「グループ(楊柳・縮緬等)」の製品の中方向は-15~0% 【洗濯・乾燥方法の特例】 ・110手洗い表示の製品は「C3G法ネット」 ・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否 判定から除外。但し3級以下は無蛍光洗剤使用等の 注意表示を付けること。	
			-6~+3%		
		外観・縫製	異常がないこと		
	☆繰返し5回洗濯 JIS-L-1930 C4M吊干し	変退色	4級 以上	4-5級 以上	・スリット・前割れ・タテ方向の柄がある製品は斜行5%以内 ・織地製品に適用 ・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、 コーティング、フロッキー、ボンディング製品等に適用
		斜行(%以内)	繊維物 3% 編物 7%		
パッカリング		3級 以上			
耐商業ウエットクリーニング性	☆耐商業ウエット クリーニング性 JIS-L-1931-4 W1~W3法(又はCW1 ~CW3法) 取扱い表示に従う	製品寸法変化率	±3%	・家庭洗濯不可かつウエットクリーニング可の商品に適用	
			外観・縫製		異常がないこと
	☆繰返し3回 JIS-L-1931 W1~W3法(又はCW1 ~CW3法) 取扱い表示に従う	変退色	4級 以上	4-5級 以上	・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、 コーティング、フロッキー、ボンディング製品等に適用
耐商業ドライクリーニング性	☆耐商業ドライ クリーニング性 JIS-L-1931 P2又はF2 取扱い表示に従う	製品寸法変化率	±3%	・ドライクリーニング可商品に適用	
			外観・縫製		異常が無いこと
	☆繰返し3回 JIS-L-1931 P2又はF2 取扱い表示に従う	変退色	4級 以上	4-5級 以上	・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、 コーティング、フロッキー、ボンディング製品等に適用
染色堅ろう度試験	★耐光	変退色	3級 以上	・蛍光増白剤の黄変は合否判定より除外 ・毛30%以上は4級以上(淡色は除く) ・水洗い可表示のものに適用	
	☆洗濯	変退色/汚染	4級 以上/3級 以上	・ドライクリーニング可表示のものに適用	
	汚染	(*) 4級 以上			
	☆水	変退色/汚染	4級 以上/3級 以上	・異色濃淡の組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は 汚染2-3級 ・濃色・特殊プリント・起毛品の場合3-4級、デニム・別珍・コール天3級 ・濃色・特殊プリント・起毛品の場合2級、デニム・別珍・コール天1-2級 ・ドライクリーニング可表示のものに適用	
	汚染	(*) 4級 以上			
	★汗	変退色/汚染	4級 以上/3級 以上		
	★摩擦	乾燥	4級 以上	・濃色・特殊プリント・起毛品の場合3-4級、デニム・別珍・コール天3級 ・濃色・特殊プリント・起毛品の場合2級、デニム・別珍・コール天1-2級 ・ドライクリーニング可表示のものに適用	
		湿潤	2-3 級以上		
	☆ドライクリーニング	変退色/汚染	4級 以上/3-4級 以上		
	色泣き	汚染	(*) 4級 以上		
酸素系漂白	変退色	4-5級 以上	・酸素系漂白表示品に適用		
物性	引張強さ	タテ/ヨコ	196N 以上	・荷重は厚地117.7N ・表、裏起毛(薄起毛含)、獣毛に適用 ・起毛製品で起毛部分の繊維がセルロース系繊維50%以上に適用 ・コール天・別珍に適用 ・中綿製品に適用 「はっ水」表示製品 洗濯処理方法:洗濯5回後ノーアイロンで実施 ドライ処理方法:商業ドライクリーニング3回後	
	引裂強さ	タテ/ヨコ	9.8N 以上		
	破裂強さ		300 kPa		
	滑脱抵抗力	タテ/ヨコ	5mm以下		
	毛羽付着	3級以上 合織フリースは、3.5級以上			
	ピリング	織10H 編5H	3級 以上		
	表面フラッシュ	「表面フラッシュなし」	炎10cm 未満		
	パイル保持性		60% 以上		
	中綿の噴出し		3級 以上		
	はっ水度	初期 処理後	4 以上 2 以上		
安全	遊離ホルムアルデヒド	出生後24ヶ月以内の乳幼児用のもの A-Ao 0.05以下	・法規製品に適用(全色・全パーツ)		
	特定芳香族アミン	30 µg/g(ppm) 以下			

【注意】

- ・付属は染色堅ろう度の「水試験」及び洗濯又はドライクリーニング試験を行う。
- ・テープ・パッキング類等は、摩擦試験(乾・湿)も行う。
- (\*) 異色濃淡組合せ品に適用

※試験基準は予告なしで変更する場合がありますから、ご不明な点がございましたら当センターまでご連絡をください。

★必須項目  
☆選択項目

# 7. スカート・キュロット類

試験項目		判定基準		特例判定基準・対象品及び備考	
耐洗濯性	☆耐洗濯性 JIS-L-1930 取扱表示に従う (132よりも強い表示 の場合はそれに従う) 吊干し	製品 寸法 変化率	織地 吊干し	丈 ±3% 巾 -5~+3%	・編地製品は洗濯前製品重量を測定し明記する。 ・「クレープ(楊柳・縮緬等)」の製品の中方向は-15~0% 【洗濯・乾燥方法の特例】 ・110手洗い表示の製品は「C3G法ネット」 ・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否 判定から除外。但し3級以下は無蛍光洗剤使用等の 注意表示を付けること。
			編地	丈 ±3% 巾 -6~+3%	
		外観・縫製		異常がないこと	
		変退色		4級 以上	
		プリント(白場汚染)		4-5級 以上	
		斜行(%以内)		織物 3% 編物 7%	
	☆繰返し5回洗濯 JIS-L-1930 C4M吊干し	パッカリング		3級 以上	・スリット・前割れ・タテ方向の柄がある製品は斜行5%以内 ・織地製品に適用 ・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、 コーティング、フロッキー、ホーンディング製品等に適用
		外観		異常がないこと	
		変退色		1回後 4級 以上 5回後 3級 以上	
		プリント(白場汚染)		4-5級 以上	
耐商業ウエット クリーニング性	☆耐商業ウエット クリーニング性 JIS-L-1931-4 W1~W3法(又は CW1~CW3法) 取扱表示に従う	製品寸法変化率	±3%	・家庭洗濯不可かつウエットクリーニング可の商品に適用  ・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、 コーティング、フロッキー、ホーンディング製品等に適用	
		外観・縫製			異常がないこと
		変退色			4級 以上
	☆繰返し3回 JIS-L-1931 W1~W3法(又は CW1~CW3法) 取扱表示に従う	プリント(白場汚染)			4-5級 以上
		パッカリング			4級 以上
耐商業ドライ クリーニング性	☆耐商業ドライ クリーニング性 JIS-L-1931 P2又はF2 取扱表示に従う	製品寸法変化率	±3%	・ドライクリーニング可商品に適用  ・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、 コーティング、フロッキー、ホーンディング製品等に適用	
		外観・縫製			異常がないこと
		変退色			4級 以上
	☆繰返し3回 JIS-L-1931 P2又はF2 取扱表示に従う	プリント(白場汚染)			4-5級 以上
		パッカリング			4級 以上
染色堅ろう度試験	★耐光	変退色		3級 以上	・蛍光増白剤の黄変は合否判定より除外 ・毛30%以上は4級以上(淡色は除く)
	☆洗濯	変退色/汚染		4級 以上/3級 以上	・水洗い可表示のものに適用
	☆水	汚染		(*1) 4級 以上	
	★汗	変退色/汚染		4級 以上/3級 以上	・異色濃淡の組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は 汚染2-3級
		汚染		(*1) 4級 以上	
	★摩擦	乾燥	4級 以上		・濃色・特殊プリント・起毛品の場合3-4級、デニム・別珍・コールド天3級 ・濃色・特殊プリント・起毛品の場合2級、デニム・別珍・コールド天1-2級
		湿潤	2-3 級以上		
	☆ドライクリーニング	変退色/汚染		4級 以上/3-4級 以上	・ドライクリーニング可表示のものに適用
		汚染		(*1) 4級 以上	
		色泣き		4-5級 以上	
物性	酸素系漂白	変退色		4級 以上	・酸素系漂白表示品に適用
	毛羽付着	3級以上 合繊ワースは、3.5級以上		・表、裏起毛(薄起毛含)、獣毛に適用	
	ピリング	織10H 編5H 3級 以上			
	パイル保持性	60% 以上		・コールド天・別珍に適用	
	引張強さ	タテ/ヨコ	196N 以上		
	引裂強さ	タテ/ヨコ	9.8N 以上		
	滑脱抵抗力	厚地(200g/m <sup>2</sup> 以上)	5mm以下		・絹織物、サテン、織密度の粗い製品に適用 ・荷重は厚地117.7N、薄地49.0N
		薄地(200g/m <sup>2</sup> 未満)	3mm以下		
	スナッグ	3級 以上			・糸が布面に浮いた組織の物、引掛り易いと思われる物
	破裂強さ	300kPa 以上			
安全	遊離ホルムアルデヒド	出生後24ヶ月以内の乳幼児用のもの A-Ao 0.05以下			・法規製品に適用(全色・全パーツ)
	特定芳香族アミン	30 μg/g(ppm)以下			

**【注意】**

- ・付属は染色堅ろう度の「水試験」及び洗濯又はドライクリーニング試験を行う。
- ・テープ・バッキング類等は、摩擦試験(乾・湿)も行う。
- (\*) 異色濃淡組合せ品に適用

※試験基準は予告なしで変更する場合がありますから、ご不明な点がございましたら当センターまでご連絡ください。

★必須項目  
☆選択項目

# 8. パンツ・スラックス類

試験項目		判定基準		特例判定基準・対象品及び備考	
耐洗濯性	☆耐洗濯性 JIS-L-1930 取扱い表示に従う (132よりも強い表示 の場合はそれに従う) 吊干し	織地 編地	吊干し	丈 ±3% 巾 -5~+3%	・編地製品は洗濯前製品重量を測定し明記する。 ・「クレープ(楊柳・縮緬等)」の製品の中方向は-15~0% 【洗濯・乾燥方法の特例】 ・110手洗い表示の製品は「C3G法ネット」 ・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否 判定から除外。但し3級以下は無蛍光洗剤使用等の 注意表示を付けること。
			丈 ±3% 巾 -6~+3%		
		外観・縫製	異常がないこと		
		変退色	4級 以上		
		プリント(白場汚染)	4-5級 以上		
		斜行(%以内)	織物 3% 編物 7%		
	☆繰返し5回洗濯 JIS-L-1930 C4M吊干し	外観	異常がないこと	・スリット・前割れ・疋方向の柄がある製品は斜行5%以内 ・織地製品に適用 ・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、 コーティング、フロッキー、ボンディング製品等に適用	
		変退色	1回後 4級 以上 5回後 3級 以上		
		プリント(白場汚染)	4-5級 以上		
		パッカリング	3級 以上		
耐商業ウエットクリーニング性	☆耐商業ウエット クリーニング性 JIS-L-1931-4 W1~W3法(又は CW1~CW3法) 取扱い表示に従う	製品寸法変化率	紳士スーツ ±2% その他製品 ±3%	・家庭洗濯不可かつウエットクリーニング可の商品に適用	
			外観・縫製		異常がないこと
		変退色	4級 以上		
		プリント(白場汚染)	4-5級 以上		
	☆繰返し3回 JIS-L-1931 W1~W3法(又は CW1~CW3法) 取扱い表示に従う	外観	異常がないこと	・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、 コーティング、フロッキー、ボンディング製品等に適用	
		変退色	1回後 4級 以上 3回後 3級 以上		
		プリント(白場汚染)	4-5級 以上		
		パッカリング	4級 以上		
	耐商業ドライクリーニング性	☆耐商業ドライ クリーニング性 JIS-L-1931 P2又はF2 取扱表示に従う	製品寸法変化率	紳士スーツ ±2% その他製品 ±3%	・ドライクリーニング可商品に適用
				外観・縫製	
変退色			4級 以上		
プリント(白場汚染)			4-5級 以上		
☆繰返し3回 JIS-L-1931 P2又はF2 取扱表示に従う		外観	異常がないこと	・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、 コーティング、フロッキー、ボンディング製品等に適用	
		変退色	1回後 4級 以上 3回後 3級 以上		
		プリント(白場汚染)	4-5級 以上		
		パッカリング	4級 以上		
染色堅ろう度試験		★耐光	変退色	3級 以上	・蛍光増白剤の黄変は合否判定より除外 ・毛30%以上は4級以上(淡色は除く)
		☆洗濯	変退色/汚染 汚染	4級 以上/3級 以上 (*1) 4級 以上	・水洗い可表示のものに適用
	☆水	変退色/汚染 汚染	4級 以上/3級 以上 (*1) 4級 以上	・ドライクリーニング可表示のものに適用	
	★汗	変退色/汚染 汚染	4級 以上/3級 以上 (*1) 4級 以上	・異色濃淡の組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は 汚染2-3級	
	★摩擦	乾燥 湿潤	4級 以上 2-3 級以上	・濃色・特殊プリント・起毛品の場合3-4級、デニム・別珍・コル天3級 ・濃色・特殊プリント・起毛品の場合2級、デニム・別珍・コル天1-2級	
	☆ドライクリーニング	変退色/汚染 汚染	4級 以上/3-4級 以上 (*1) 4級 以上	・ドライクリーニング可表示のものに適用	
	色泣き	汚染	4-5級 以上		
	汗耐光	変退色	3級 以上	・セルロース系繊維を含む「スラックス・パンツ」に適用	
	塩素処理水	変退色	3級 以上	・セルロース系繊維を含む「パンツ」に適用	
	酸素系漂白	変退色	4級 以上	・酸素系漂白表示品に適用	
物性	毛羽付着	3級以上 合繊フリースは、3.5級以上		・表、裏起毛(薄起毛含)、獣毛に適用	
	ピリング	織10H 編5H	3級 以上	・毛混の「スラックス・パンツ」に適用	
	パイル保持性		60% 以上	・コル天・別珍に適用	
	引張強さ	タテ/ヨコ	196N 以上		
	引裂強さ	タテ/ヨコ	9.8N 以上		
	摩擦強度 (E法)	毛10000回以上(スーツ20000回以上)		・絹8000回以上、その他は、ユニバーサル法100回以上	
	滑脱抵抗力	厚地(200g/m <sup>2</sup> 以上) 5mm以下 薄地(200g/m <sup>2</sup> 未満) 3mm以下		・絹織物、サテン、織密度の粗い製品に適用 ・荷重は厚地117.7N、薄地49.0N	
	スナッグ		3級 以上	・糸が布面に浮いた組織の物、引掛り易いと思われる物	
	破裂強さ		300kPa 以上		
	安全	遊離ホルムアルデヒド	出生後24ヶ月以内の乳幼児用のもの A-Ao 0.05以下		・法規製品に適用(全色・全パーツ)
特定芳香族アミン			30 μg/g(ppm) 以下		

【注意】  
 ・付属は染色堅ろう度の「水試験」及び洗濯又はドライクリーニング試験を行う。  
 ・テープ・バイキング類等は、摩擦試験(乾・湿)も行う。  
 (\*1)異色濃淡組合せ品に適用

※試験基準は予告なしで変更する場合がありますから、ご不明な点がございましたら当センターまでご連絡をください。

★必須項目  
☆選択項目

# 9. 肌着・寝衣類

試験項目	判定基準		特例判定基準・対象品及び備考	
耐洗濯性	☆耐洗濯性 JIS-L-1930 取扱い表示に従う	製品 織地 吊干し	-5~+3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・編地製品は洗濯前製品重量を測定し明記する。</li> <li>・「クレープ(楊柳・縮緬等)」の製品の中方向は-15~0%</li> <li>【洗濯・乾燥方法の特例】</li> <li>・ダブルフェイス、裏毛編地、リブ編地(テレコ)製品は「吊干し」</li> <li>・毛、絹の混紡品は「中性吊干し」(中性洗剤使用の付記がある場合)</li> <li>・110手洗い表示の製品は「C3G法ネット」</li> <li>・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し、合否判定から除外する。但し3級以下は「無蛍光洗剤使用」等の注意表示を付けること。</li> <li>・スリット・前割れ・疋方向の柄がある製品は斜行5%以内</li> <li>・織地製品に適用</li> <li>・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、コーティング、フロッキー、ボンディング製品等に適用</li> </ul>
		製品 編地 吊干し	-6~+3%	
	タンブル乾燥優先(*2)	製品 編地 タンブル乾燥	丈 -8~0% 巾 -10~0%	
		製品 編地 タンブル乾燥	巾 -10~0%	
		製品 編地 タンブル乾燥	巾 -10~0%	
		製品 編地 タンブル乾燥	巾 -10~0%	
		製品 編地 タンブル乾燥	巾 -10~0%	
		製品 編地 タンブル乾燥	巾 -10~0%	
☆繰返し5回洗濯 JIS-L-1930 C4M吊干し	製品 編地 吊干し	異常がないこと		
	製品 編地 吊干し	異常がないこと		
染色堅ろう度試験	★耐光	変退色	3級以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蛍光増白剤の黄変は合否判定より除外</li> <li>・肌着は除く</li> </ul>
	☆洗濯	変退色/汚染	4級以上/3級以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水洗い可表示のものに適用</li> </ul>
	☆水	変退色/汚染	4級以上/3級以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドライクリーニング可表示のものに適用</li> </ul>
	★汗	変退色/汚染	4級以上/3級以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異色濃淡の組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級</li> </ul>
	★摩擦	乾燥	4級以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・濃色・特殊プリント・起毛品の場合3-4級、デニム・別珍・コル天3級</li> </ul>
	★摩擦	湿潤	2-3級以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・濃色・特殊プリント・起毛品の場合2級、デニム・別珍・コル天1-2級</li> </ul>
	☆「ドライクリーニング」	変退色/汚染	4級以上/3-4級以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドライクリーニング可表示のものに適用</li> </ul>
	色泣き	汚染	(*) 4級以上	
	塩素処理水	変退色	3級以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・淡色は2-3級以上セルロース系繊維を含む製品に適用</li> </ul>
	酸素系漂白	変退色	4級以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸素系漂白表示品に適用</li> </ul>
物性	毛羽付着	3級以上 合繊維は、3.5級以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表、裏起毛(薄起毛含)、獣毛に適用</li> </ul>	
	ビリンゲ	織10H 編5H	3級以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホリエステル混、毛混、起毛品は2級以上</li> </ul>
	中綿の噴出し	3級以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中綿製品に適用</li> </ul>	
	表面フラッシュ	「表面フラッシュなし」	炎10cm 未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起毛製品で起毛部分の繊維がセルロース系繊維50%以上に適用</li> </ul>
	引張強さ	タテ/ヨコ	150N 以上	
	引裂強さ	タテ/ヨコ	9.8N 以上	
	破裂強さ	300kPa 以上		
	摩耗強度 (E法)	毛10000回以上(スーツ20000回以上)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・絹8000回以上、その他は、ユニバーサル法100回以上</li> </ul>
	滑脱抵抗力	厚地(200g/m <sup>2</sup> 以上) 5mm以下 薄地(200g/m <sup>2</sup> 未満) 3mm以下		<ul style="list-style-type: none"> <li>・絹織物、サテン、織密度の粗い製品に適用</li> <li>・荷重は厚地117.7N、薄地49.0N</li> </ul>
	スナッグ	3級以上		<ul style="list-style-type: none"> <li>・糸が布面に浮いた組織の物、引掛り易いと思われる物</li> </ul>
安全	☆遊離ホルムアルデヒド	出生後24ヶ月以内の乳幼児用のもの A-Ao 0.05以下 上記以外は75 μg/g(ppm) 以下	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法規製品に適用(全色・全パーツ)</li> </ul>	
	特定芳香族アミン	30 μg/g(ppm) 以下		

**【注意】**

・付属は染色堅ろう度の「水試験」及び洗濯又は「ドライクリーニング試験」を行う。

・テープ・パイピング類等は、摩擦試験(乾・湿)も行う。

(\*)1: 異色濃淡組合せ品に適用

(\*)2: 寸法変化率がタンブル乾燥で基準値を越す場合タンブル乾燥済み試験製品で吊干しによる再試験を行い、吊干しの基準値以内であれば合格とする。この場合、「タンブル乾燥禁止」(図柄300)と「吊干し」(図柄440又は445)表示を行う。

※試験基準は予告なしで変更する場合がありますから、ご不明な点がございましたら当センターまでご連絡をください。

★必須項目  
☆選択項目

# 10. マフラー・ストール類

試験項目		判定基準		特例判定基準・対象品及び備考	
耐洗濯性	☆耐洗濯性 JIS-L-1930 取扱い表示に従う (132よりも強い表示 の場合はそれに従う) 平干し	製品寸法変化率	-6~+3%	・水洗い可商品に適用 ・「クレープ(楊柳・縮緬等)」の製品の巾方向は-15~0% 【洗濯・乾燥方法の特例】	
		外観・縫製	異常が無いこと		
		変退色	4級以上	・110手洗い表示の製品は「C3G法ネット」 ・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否 判定から除外。但し3級以下は無蛍光洗剤使用等の 注意表示を付けること。	
		ブリード(白場汚染)	4-5級以上	・スリット・前割れ・タテ方向の柄がある製品は斜行5%以内	
		斜行(%以内)	織物 3% 編物 7%		
耐商業ウェット クリーニング性 JIS-L-1931-4 W1~W3法(又はCW1 ~CW3法) 取扱い表示に従う	製品寸法変化率 外観・縫製 変退色 ブリード(白場汚染)	製品寸法変化率	±3%	・家庭洗濯不可かつウェットクリーニング可の商品に適用	
		外観・縫製	異常がないこと		
		変退色	4級以上		
		ブリード(白場汚染)	4-5級以上		
耐商業 ドライ性	☆耐商業 ドライ クリーニング性 JIS-L-1931 P2又はF2 取扱い表示に従う	製品寸法変化率	±3%	・ドライクリーニング可商品に適用	
		外観・縫製	異常がないこと		
		変退色	4級以上		
		ブリード(白場汚染)	4-5級以上		
染色堅ろう度試験	★耐光	変退色	3級以上	・蛍光増白剤の黄変は合否判定より除外 ・毛30%以上は4級以上(淡色は除く)	
	☆洗濯	変退色/汚染 汚染	4級以上/3級以上 (*1) 4級以上	・ブリード及び白場汚染が認められないこと	
	★水	変退色/汚染 汚染	4級以上/3級以上 (*1) 4級以上	・ドライクリーニング可表示のものに適用 ・ブリード及び白場汚染が認められないこと	
	★汗	変退色/汚染 汚染	4級以上/3級以上 (*1) 4級以上	・異色濃淡の組合せ以外の「毛・縮70%以上含む もの」は汚染2-3 級	
	★摩擦	乾燥 湿潤	4級以上 2-3級以上	・ブリード及び白場汚染が認められないこと ・濃色・特殊プリント・起毛品の場合3-4級 ・濃色・特殊プリント・起毛品の場合2級	
	☆ドライクリーニング	変退色/汚染 汚染	4級以上/3-4級以上 (*1) 4級以上	・ドライクリーニング可表示のものに適用 ・ブリード及び白場汚染が認められないこと	
	色泣き	汚染	4-5級以上	・酸素系漂白表示品に適用	
	酸素系漂白	変退色	4級以上		
	物性	ピリング	織10H 編5H	3級以上	
		毛羽付着		3級以上	・表、裏起毛(薄起毛含)、獣毛に適用
安全	遊離ホルムアルデヒド	出生後24ヶ月以内の乳幼児用のもの A-Ao 0.05以下		・法規制品に適用(全色・全パーツ)	
	特定芳香族アミン	30 µg/g(ppm)以下			

【注意】

(\*1): 異色濃淡組合せ品に適用

※試験基準は予告なしで変更する場合がありますから、ご不明な点がございましたら当センターまでご連絡をください。

★必須項目  
☆選択項目

# 11. 毛布類

試験項目		判定基準		特例判定基準・対象品及び備考	
耐洗濯性	★耐洗濯性 取扱い表示に従う	製品寸法変化率	織物	±3%	
			編物	±3%	
	自然乾燥	外観・縫製	異常のないこと		
		変退色	4級以上		
		プリント(白場汚染)	4-5級以上	・目立たないこと	
☆耐商業ウェットクリーニング性 JIS-L-1931-4 W1~W3法(又はCW1~CW3法) 取扱い表示に従う	製品寸法変化率	外観・縫製	異常がないこと	・家庭洗濯不可かつウェットクリーニング可の商品に適用  ・目立たないこと	
		変退色	4級以上		
		プリント(白場汚染)	4-5級以上		
耐商業ドライ性	☆耐商業ドライクリーニング性 JIS-L-1931 P2又はF2 取扱い表示に従う	製品寸法変化率	±3%	・ドライクリーニング可商品に適用  ・目立たないこと	
		外観・縫製	異常がないこと		
		変退色	4級以上		
		プリント(白場汚染)	4-5級以上		
染色堅ろう度試験	★耐光	変退色	3級以上	・蛍光増白剤の黄変は合否判定より除外 ・毛30%以上は4級以上(淡色は除く)	
	★洗濯	変退色/汚染	4級以上/3級以上	・毛・絹 A-1号 その他 A-2号 ・水洗い可表示の製品に適用	
		汚染	(*1) 4級以上		
	水	変退色/汚染	4級以上/3級以上		
		汚染	(*1) 4級以上		
	★汗	変退色/汚染	4級以上/3級以上		
		汚染	(*1) 4級以上		
	★摩擦	乾燥	4級以上	・濃色・特殊プリントの場合3-4級以上	
湿潤		2級以上	・淡色のものは除く		
☆ドライクリーニング	変退色/汚染	4級以上/4級以上	・ドライクリーニング可表示のものに適用		
酸素系漂白	変退色	4級以上	・酸素系漂白表示品に適用		
物性	☆引張強さ	JIS L 1096 スリップ法	タテ 200N以上 ヨコ 200N以上	一重毛布・純毛・絹毛布はタテヨコとも100N以上	
	☆破裂強さ	JIS L 1096 ミュレン法	500kPa以上	・編物製毛布に適用	
	☆脱毛率	タオル検法	0.2%以下	・脱落するおそれの高いものに適用	
	★毛羽付着	QTECセロテープ法	3級以上	・起毛品に適用	
	★ピリング	JIS L 1076 ICI法(5時間)	2.5級以上		
安全性	遊離ホルムアルデヒド	出生後24ヶ月以内の乳幼児用のもの A-Ao 0.05以下 上記以外は75 μg/g(ppm)以下		・法規制品に適用(全色・全パーツ)	
	特定芳香族アミン	30 μg/g(ppm)以下			

【注意】

(\*1) 異色濃淡組合せ品に適用

※試験基準は予告なしで変更する場合がありますから、ご不明な点がございましたら当センターまでご連絡をください。

★必須項目  
☆選択項目

## 12. 手袋

試験項目		判定基準		特例判定基準・対象品及び備考
耐洗濯性	★耐洗濯性 取扱い表示に従う	製品寸法変化率 織物	-5~+5%	
		編物	±3%	
	自然乾燥 取扱い表示に従う	外観・縫製	異常のないこと	
		変退色	4級以上	
		ブリード(白場汚染)	4-5級以上	
☆耐商業ウエット クリーニング性 JIS-L-1931-4 W1~W3法(又はCW1 ~CW3法) 取扱い表示に従う	製品寸法変化率	±3%	・家庭洗濯不可かつウエットクリーニング可の商品に適用  ・目立たないこと	
	外観・縫製	異常がないこと		
	変退色	4級以上		
	ブリード(白場汚染)	4-5級以上		
耐商業ドライ性	☆耐商業ドライ クリーニング性 JIS-L-1931 P2又はF2 取扱い表示に従う	製品寸法変化率	±3%	・ドライクリーニング可商品に適用  ・目立たないこと
		外観・縫製	異常がないこと	
		変退色	4級以上	
		ブリード(白場汚染)	4-5級以上	
染色堅ろう度試験	★耐光	変退色	3級以上	・蛍光増白剤の黄変は合否判定より除外 ・毛30%以上は4級以上(淡色は除く)
	★洗濯	変退色/汚染	4級以上/3級以上	・水洗い可表示の製品に適用 ・合皮、本革は免除
		汚染	(*1) 4級以上	
	水	変退色/汚染	4級以上/3級以上	
		汚染	(*1) 4級以上	
	★汗	変退色/汚染	4級以上/3級以上	
		汚染	(*1) 4級以上	
	★摩擦	乾燥	4級以上	・淡色のものは除く
湿潤		2-3級以上		
☆ドライクリーニング	変退色/汚染	4級以上/3級以上	・ドライクリーニング可表示のものに適用	
酸素系漂白	変退色	4級以上	・酸素系漂白表示品に適用	
物性	☆引張強さ	JIS L 1096 スリップ法	タテ 150N以上 ヨコ 120N以上	
	☆破裂強さ	JIS L 1096 ミュレン法	300kPa以上	・編物製品に適用
	★ピリング	JIS L 1076 ICI法(5時間)	3級以上	・合繊混2.5級
安全性	☆遊離ホルムアルデヒド	出生後24ヶ月以内の乳幼児用のもの A-Ao 0.05以下 上記以外は75 μg/g(ppm)以下		・法規製品に適用(全色・全パーツ)
	特定芳香族アミン	30 μg/g(ppm)以下		

【注意】

(\*1) 異色濃淡組合せ品に適用

天然皮革製手袋は雑貨工業品品質表示規程による表示が必要。

※試験基準は予告なしで変更する場合がありますから、ご不明な点がございましたら当センターまでご連絡ください。



★必須項目  
☆選択項目 無印は任意

# 13. ネクタイ

試験項目		適用規格	判定基準		特例判定基準・対象品及び備考
製品検査	★組成表示		家庭用品品質表示法	適正であること	
	★原産国表示		不当品類および不当表示防止法	適正であること	
	★外観・縫製			異常がないこと	
	☆耐洗濯性	JISL1930	外観・縫製	異常がないこと	・水洗い可表示に適用 ・乾燥は取扱い表示の方法で行う
	取扱い表示の方法に従う		寸法変化率	長さ方向 ±3%	
			変退色	4級以上	
			ブリード	4-5級以上	
			パッカリング(織)	3級以上	
	☆耐商業ウエットクリーニング性	JIS-L-1931-4 W1~W3 法(又はCW1~CW3法)	外観・縫製	異常がないこと	・家庭洗濯不可かつウエットクリーニング可の商品に適用
	取扱い表示の方法に従う		寸法変化率	長さ方向 ±2%	
変退色			4級以上		
ブリード			4-5級以上		
		パッカリング(織)	3級以上		
☆耐商業ドライクリーニング性	JISL1931 P2又はF2	外観・縫製	異常がないこと	・ドライクリーニング可表示に適用	
取扱い表示の方法に従う		寸法変化率	長さ方向 ±2%		
		変退色	4級以上		
		ブリード	4-5級以上		
		パッカリング(織)	3級以上		
生地	★耐光(第3露光法)	JISL0842	変退色	3級以上	蛍光増白剤の黄変は判定より除外
	☆洗濯	JISL0844	変退色/汚染	4級以上/3級以上	・水洗い可表示に適用
	★汗	JISL0848	汚染	(1)3-4級以上	・毛:絹50以上の混用品は、汚染2-3級以上 異色濃淡の組み合わせ以外の毛及び絹30%以上を含む素材・フロッキー加工は、汚染2級以上
			変退色/汚染	4級以上/3級以上	
	★摩擦	JISL0849	乾燥	3-4級以上	絹・麻・綿濃色・スエード加工・デニム(インディゴ)顔料・フロッキー・プリントは、乾燥3級以上、湿潤1-2級以上
			湿潤	2級以上	
	☆ドライ	JISL0860	変退色/汚染	4級以上/3級以上	ドライクリーニング可表示に適用
☆水滴下	JISL0853	汚染	(1)3-4級以上		
酸素系漂白	JISL0889	変退色	4級以上	毛・絹・レーヨン・リヨセル合計50%以上の製品に適用 ・酸素系漂白表示品に適用	
安全	混用率	JIS L 1030-1、JIS L 1030-2			
	遊離ホルムアルデヒド	JISL1041	出生後24ヶ月以内の乳幼児用のもの A-Ao 0.05以下		・法規製品に適用(全色・全パーツ)
	特定芳香族アミン		30 μg/g(ppm)以下		

**【注意】**

(1)異色濃淡組み合わせ品に適用

※試験基準は予告なしで変更する場合がありますから、ご不明な点がございましたら当所までご連絡をください。

★必須項目  
☆選択項目 無印は任意

# 14. 帽子

		試験項目	適用規格	判定基準	特例判定基準・対象品及び備考	
製 品 検 査		★組成表示		家庭用品品質表示法 適正であること		
		★取扱表示		家庭用品品質表示法 適正であること		
		★サイズ表示		頭囲 適正であること		
		★原産国表示		不当景品類および 不当表示防止法 適正であること		
		★外観・縫製		縫製検査標準規格 異常がないこと		
	★耐洗濯性 (製品で実施) 取扱い表示の方法 に従う	JISL1930	外観・縫製		異常がないこと	編地(回復性のあるものは除外)、織地、 合成皮革 ・乾燥は取扱い取扱い表示の方法に従う
			寸法変化率	頭囲 ±3% その他 -4%~+3%		
	変退色		4級以上			
	ブリード		4-5級以上			
	☆耐洗濯性(5回) (製品で実施)	JISL1930 C4M 吊干し	外観・縫製		風合い・外観変化が少ないこと	編地(回復性のあるものの寸法変化率は除外)、織地の 特殊プリント製品(顔料、ラバー等)コーティング、フロッ キー、ボンディングの加工製品に適用、水洗い可の合成 皮革、マシンウオシヤブル表示商品 ・110手洗い表示の製品は「C3G法ネット」 ネット表示の場合は表示に従う
			寸法変化率	頭囲 ±3% その他 -5%~+3%		
			変退色	3級以上		
			ブリード	4-5級以上		
	☆耐商業ウエット クリーニング性 取扱い表示に従う	JIS-L- 1931-4 W1~W3 法(又は CW1~ CW3法)	外観・縫製		異常がないこと	・家庭洗濯不可かつウエットクリーニング可の商品に適用
			寸法変化率	頭囲 ±2% その他 ±3%		
			変退色	4級以上		
			ブリード	4-5級以上		
	☆耐商業ウエット クリーニング性(5回) 取扱い表示に従う	JIS-L- 1931-4 W1~W3 法(又は CW1~ CW3法)	外観・縫製		異常がないこと	編地(回復性のあるものの寸法変化率は除外)、織 地の特殊プリント製品(顔料、ラバー等)コーティン グ、フロッキー、ボンディングの加工製品に適用、合 成皮革
寸法変化率			頭囲 ±2% その他 ±3%			
変退色			3級以上			
ブリード			4-5級以上			
☆耐商業ドライ クリーニング性 取扱い表示に従う	JISL1931 P2又はF2	外観・縫製		異常がないこと	編地(回復性のあるものは除外) 織地、合成皮革	
		寸法変化率	頭囲 ±2% その他 ±3%			
		変退色	4級以上			
		ブリード	4-5級以上			
☆耐商業ドライ(3回) クリーニング性 取扱い表示に従う	JISL1931 P2又はF2	外観・縫製		異常がないこと	編地(回復性のあるものの寸法変化率は除外)、織 地の特殊プリント製品(顔料、ラバー等)コーティン グ、フロッキー、ボンディングの加工製品に適用、合 成皮革	
		寸法変化率	頭囲 ±2% その他 ±3%			
		変退色	3級以上			
		ブリード	4-5級以上			
生地	染色堅 牢度	★耐光(第3露光法)	JISL0842	変退色 4(3)級以上	( ) 淡色に適用。蛍光増白剤の黄変は判定より除外	
		☆洗濯	JISL0844	変退色/汚染 汚染 4(3-4)級以上/3(2-3)級以上 4級以上	水洗い可の表示に適用( ) デニム素材 異色濃淡組合せ	
		★汗	JISL0848	変退色/汚染 汚染 4級以上/3(2-3)級以上 4級以上	ドライのみ表示のものは除外。( ) 毛・絹30%以上に適用 異色濃淡組合せ	
		☆水	JISL0846	変退色/汚染 汚染 4(3-4)級以上/3(2-3)級以上 4級以上	ドライのみ表示のものに適用。( ) 毛・絹30%以上に適用 異色濃淡組合せ	
		★摩擦	JISL0849	乾燥 湿潤 3-4級(3)以上 2-3(2)級以上	( ) 濃色・特殊プリント・起毛品及びデニム・別珍・コール天 ( ) 濃色・特殊プリント・起毛品に適用 デニム・別珍・コール天1-2級	
		☆ドライ	JISL0860	変退色/汚染 汚染 4級以上/3級以上 4級以上	ドライクリーニング可表示のもの 異色濃淡組合せ	
		☆汗耐光	JISL0888B法	変退色 3級以上	セルロース系30%以上に適用	
		酸素系漂白	JISL0889	変退色 4級以上	・酸素系漂白表示品に適用	
		物性	ピリング	JISL1076A法	織10H/編5h 3級以上	抗ピル表示商品
		機能性	毛羽付着	セロテープ法	3級以上	起毛加工の生地、獣毛
	☆紫外線遮蔽性	JISL 1925	遮蔽率 90%以上	機能性をうたったもの		
	混用率	JIS L 1030~1031		繊維製品に適用		
安全	☆遊離ホルムアルデヒド	JISL1041	出生後24ヶ月以内の乳幼児用のもの A-Ao 0.05以下	・法規製品に適用(全色・全パーツ)		
	特定芳香族アミン		30 μg/g(ppm)以下			

※試験基準は予告なしで変更する場合がありますから、ご不明な点がございましたら当所までご連絡ください。

★必須項目  
☆選択項目 無印は任意

# 15. 帽子(雑材・皮革等)

試験項目		試験規格	判定基準		特例判定基準・対象品及び備考	
製 品 検 査	★組成表示		家庭用品品質表示法	適正であること		
	★取扱表示		家庭用品品質表示法	適正であること		
	★サイズ表示		頭囲	適正であること		
	★原産国表示		不当景品類および不当表示防止法	適正であること		
	★外観・縫製		縫製検査標準規格	異常がないこと		
	★耐洗濯性 (製品で実施) 取扱い表示の方法 に従う	JISL1930	外観・縫製		異常がないこと	・水洗い可表示のもの ・乾燥は取扱い取扱い表示の方法に従う
			寸法変化率	頭囲 ±3%	その他 ±4%	
			変退色	3級以上		
			ブリード	3-4級 以上		
	☆耐商業ウエット クリーニング性 取扱い表示に従う	JIS-L-1931-4 W1~W3 法(又は CW1~ CW3法)	外観・縫製		異常がないこと	・家庭洗濯不可かつウエットクリーニング可の商品に適用
寸法変化率			頭囲 ±3%	その他 ±4%		
変退色			3-4級以上			
ブリード			3-4級以上			
☆耐商業ドライ クリーニング性 取扱い表示に従う	JISL1931 P2又はF2	外観・縫製		異常がないこと	ドライクリーニング可表示のもの	
		寸法変化率	頭囲 ±3%	その他 ±4%		
		変退色	3-4級以上			
		ブリード	3-4級以上			
生 地	★耐光	JISL0842	変退色	3(2)級以上	( )はデメリット表示のあるもの	
	☆洗濯	JISL0844	変退色/汚染	3-4(3)級以上/2級以上	水洗い可表示のもの。( )はデメリット表示のあるもの 異色濃淡組合せ	
			汚染	3-4級以上		
	★汗	JISL0848	変退色/汚染	3-4(3)級以上/2級以上	ドライのみ表示のもの及び皮革は除外 異色濃淡組合せ。( )はデメリット表示のあるもの	
			汚染	3-4級以上		
	☆水	JISL0846	変退色/汚染	3-4(3)級以上/2級以上	ドライのみ表示のもの。( )はデメリット表示のあるもの 異色濃淡組合せ	
			汚染	3-4級以上		
	★摩擦	JISL0849	乾燥	3-4(3)級以上	( )濃色に適用	
			湿潤	1-2級以上		
	☆ドライ	JISL0860	変退色/汚染	4級以上/3級以上	ドライクリーニング可表示のもの 異色濃淡組合せ	
汚染			4級以上			
汗耐光	JISL0860	変退色	3級以上			
酸素系漂白	JISL0889	変退色	4級 以上	・酸素系漂白表示品に適用		
混用率		JIS L 1030~1031				
安全	☆遊離ホルムアルデヒド	JISL1041	出生後24ヶ月以内の乳幼児用のもの A-Ao 0.05以下		・法規制品に適用。(全色・全パーツ)	
	特定芳香族アミン		30 μg/g(ppm)以下			

※試験基準は予告なしで変更する場合がありますから、ご不明な点がございましたら当所までご連絡ください。

★必須項目  
☆選択項目

# 16. 形態安定加工製品

試験項目		判定基準		特例判定基準・対象品及び備考	
製 品 耐 洗 濯 性 検 査	★組成表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
	★取扱表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
	★サイズ表示	日本産業規格	適正であること		
	★原産国表示	不当景品類および不当表示防止法	適正であること		
	★外観・縫製	縫製検査標準規格	適合していること		
	★耐洗濯性(10回) (製品で実施) JIS-L-1930 C4M ネット使用は表示による	外観	風合い・外観変化が少ないこと	<p>・布帛(綿・セルロース系繊維製品およびそれらのポリエステル混紡品に適用)</p> <p>吊干しはC4M法を1サイクルとし繰り返し洗濯。測定判定は1回後、10回後に吊干し行う。各回の洗濯は必ず洗濯槽より取り出し、洗濯しわや形を整えてから次の洗濯を行う。</p> <p>ダブル乾燥はC4M法を1サイクルとする。測定・判定は1回後、10回後に行う。1回の洗濯毎にダブル乾燥を行う。乾燥しわや形を整えてから次の洗濯を行う。</p> <p>尚、1回目で基準値に満たない場合、その時点で試験を中止する。</p>	
		縫製	異常のないこと		
		ダブル乾燥 吊干し (表示による)	衿回り		±1.0%
			その他		±1.5%
		変退色	1回目4級、10回目3級以上		
		ブリード	4-5級 以上		
		W&W性	3.2級以上		
		パッカリング	衿・カフス・ボトム脇・尻縫い 3.5級以上 前立て・ポケット 3級以上		
	保形性	3級以上			
	★耐洗濯性(5回) (製品で実施) JIS-L-1930 C4M ネット使用は表示による	外観	風合い・外観変化が少ないこと	<p>・編物(綿・セルロース系繊維製品およびそれらのポリエステル混紡品に適用)</p> <p>吊干しはC4M法を1サイクルとし繰り返し洗濯。測定・判定は1回後、5回後に吊干し行う。各回の洗濯は必ず洗濯槽より取り出し、洗濯しわや形を整えてから次の洗濯を行う。</p> <p>ダブル乾燥はC4M法を1サイクルとする。測定判定は1回後、5回後に行う。1回の洗濯毎にダブル乾燥を行う。乾燥しわや形を整えてから次の洗濯を行う。</p> <p>尚、1回目で基準値に満たない場合、その時点で試験を中止する。</p>	
		縫製	異常のないこと		
		ダブル乾燥 吊干し (表示による)	衿回り		±1.0%
			丈		-2~1%
幅			-3~1%		
変退色		1回目4級、5回目3級以上			
ブリード		4-5級 以上			
W&W性		3.2級以上			
パッカリング	衿・ポケット・目立つ部位 3級以上				
保形性	3級以上				
安全	☆遊離ホルムアルデヒド	<p>出生後24ヶ月以内の乳幼児用のもの A-Ao 0.05以下 300 μg/g(ppm)以下</p>		<p>・全色全パーツ(素材・副資材・付属品)が基準値以内であることを保障すること</p>	

※試験基準は予告なしで変更する場合がありますから、ご不明な点がございましたら当センターまでご連絡をください。

★必須項目  
☆選択項目 無印は任意

## 17. マスク(ファッション用途)

試験項目		適用規格	判定基準		特例判定基準・対象品及び備考
製品検査	★組成表示		家庭用品品質表示法準拠	適正であること	
	☆取扱表示		家庭用品品質表示法準拠	適正であること	
	★原産国表示		不当景品類および不当表示防止法	適正であること	
	☆取扱表示		(一社)日本衛生材料工業連合会自主基準	適正であること	
	★外観・縫製			異常がないこと	
	★耐洗濯性 (製品で実施) 取扱い絵表示に従う (132よりも強い表示 の場合はそれに従う) タンブル乾燥を優先(*2) (*3)	JISL1930	外観・縫製	異常がないこと	
			寸法変化率	-6~3%	
		変退色	4級以上		
		ブリード	4-5級 以上		
生地	☆耐光(第3露光法)	JISL0842	変退色	3級以上	蛍光増白剤の黄変は判定より除外
	★洗濯	JISL0844	変退色/汚染	4級以上/3級以上	水洗い可の表示に適用
	★汗	JISL0848	汚染	(*1) 4級以上	
			変退色/汚染	4級以上/3級以上	
	★摩擦	JISL0849	乾燥	4級以上	
		湿潤	2-3級以上		
	混用率	JIS L 1030			繊維製品に適用
安全	★遊離ホルムアルデヒド	JISL1041	検出されないこと (A-Ao 0.05以下)		全色・全パーツ
	特定芳香族アミン		30 μg/g(ppm)以下		

**【注意】**

(\*1):異色濃淡組合せ品に適用

(\*2):寸法変化率がタンブル乾燥で基準値を超過する場合タンブル乾燥済み試験製品で吊干しによる再試験を行い、吊干しの基準値以内であれば合格とする。この場合、「タンブル乾燥禁止」(図柄300)と「吊干し」(図柄440又は445)表示を行う。

(\*3):取扱い表示がない場合はC4Mタンブル乾燥による試験を行う。

※試験基準は予告なしで変更する場合がありますから、ご不明な点がございましたら当所までご連絡をください。